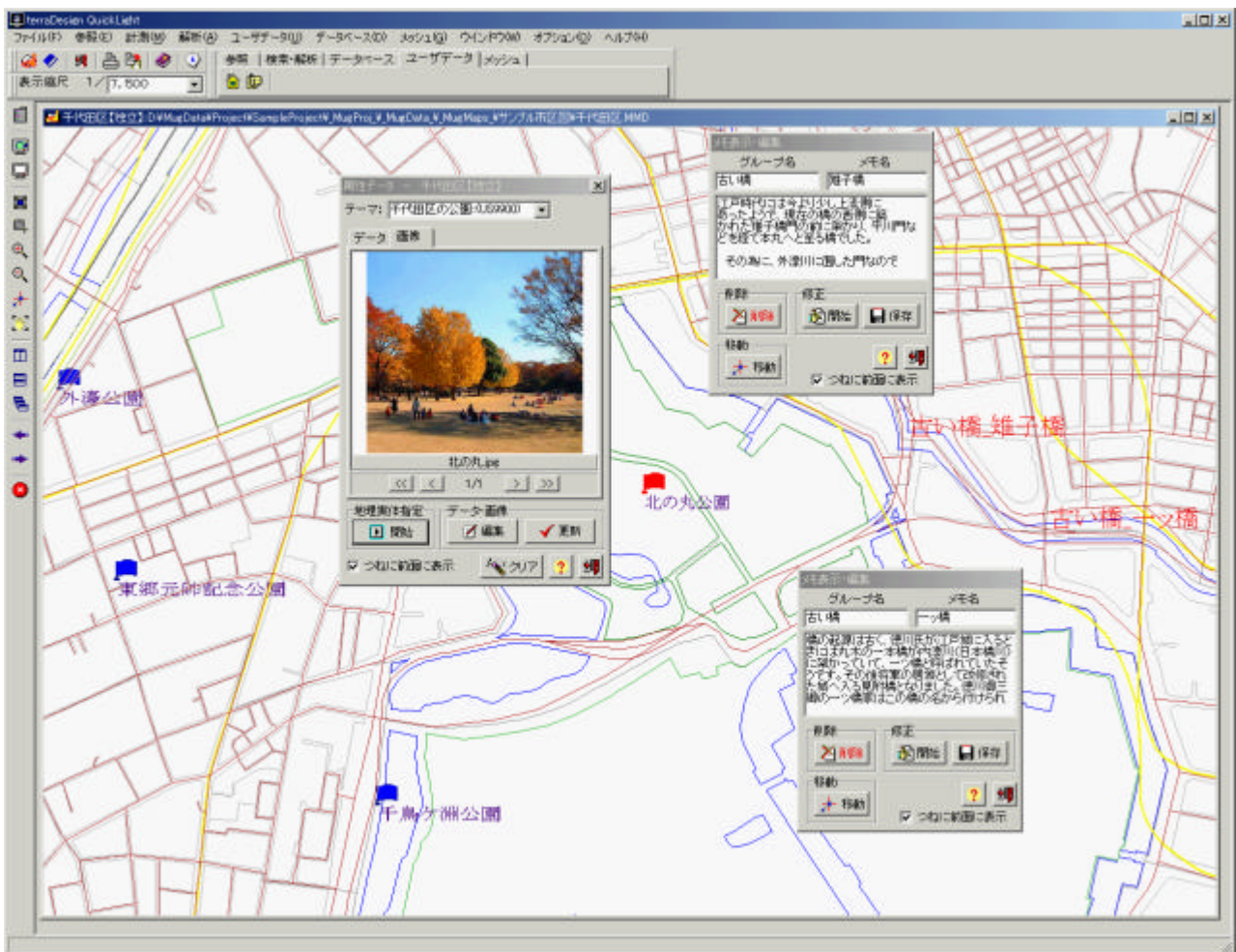


## 散策マップを作る

知っているようで意外と知らない自分の町。町にはいろいろな興味の対象が散りばめられています。町を散策・探索して興味の対象を見つけシンボルを配置していくと、そこは町の縮図が表現されます。興味の対象について調べた事をデータ化したり、写真をとったり、ちょっと長めのメモを貼り付けたり、散策マップ町の歴史や景観までもをイメージさせてくれます。



### 散策マップ例

市区町村地図を利用した図例では、公園をシンボルマップで配置し調べたデータと共にデジカメで撮影してきた写真を表示しています。また区内にある古い橋については、その位置に橋の名前の言われなどについてメモを貼り付けています。シンボルとメモを組み合わせると情報量も増え、面白い散策マップが構成できます。

---

## 散策マップの作り方

---



### フィールドワーク

白地図を印刷し、散策しながらデータを収集します。  
散策する地域の白地図を印刷しておき、公園や古い橋の場所をマーキングしながら、色々な情報をメモしてきたりデジカメや携帯電話で写真を撮ったりデータを収集します。

入手したデータを整理します。  
入手したデータの中を整理して利用できる物できないものなどの区別をし整理をしておきます。データの項目を揃えたり、メモの長さを調整したり、デジカメ写真の大きさやカットを調整したりして、使いやすいように整理します。



### terraDesign での操作

terraDesign にシンボルを配置します。  
まずは「シンボル編集」機能を利用してデジタルマップ上に白地図にマークした位置と同じ場所にそれぞれの名前をつけたシンボルを配置します。シンボルを配置するには、収集したデータのグループ(テーマ)名を登録します。図例では千代田区の公園としました。

シンボルにデータを追加します。  
デジタルマップに配置されたシンボル(テーマ)に「データテーブル編集」機能を使いデータ項目を追加します。データ項目が追加されたら「データカード編集」機能を利用して個々のシンボルごとにデータ内容や写真の登録を行います。

terraDesign にメモを配置します。  
「メモ編集」機能を利用してメモをデジタルマップに貼り付けます。メモはグループ毎と個々のメモ毎に名前を決めてから内容を書き込みます。

同じようにして必要なシンボルやメモを作成していきます。

散策マップの完成です